

令和6年度高志高校入学式 校長式辞

穏やかな春の光が降り注ぎ、草木が芽吹く彩り豊かな季節となりました。

この佳き日に、福井県立高志高等学校令和六年度入学式を挙げるにあたり、PTA会長 高村 昌裕 様、副会長 澤崎 敏文 様、そして新入生の保護者の皆様に御臨席を賜り、心から厚くお礼を申し上げます。

ただ今入学を許可いたしました243名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

今日まで皆さんを育ててくださったご家族、中学校までお世話になった先生方、皆さんを温かく見守ってくださった地域の方々への感謝の気持ちを持ち続け、今日の喜びと高校生活に向けた決意を忘れず、高志高校での3年間を過ごしてください。

皆さんが本校で在籍するのは、探究創造科という学科です。「探究」とは、様々なことに興味・関心を抱き、自ら問いを発したり試行錯誤したりしながら成長を続けようとする事、「創造」とは、新しいものや文化を創ったり今ある問題を解決したりしようとする事を指します。「探究」と「創造」の営みを重ねながら、人々の幸せに貢献しようとする「高志の学び」を一緒に追求していきましょう。

本校は、今年創立77年目を迎える伝統ある学校です。10年前には高志中学校が併設され、中学校1年生から高校3年生までの6学年が同じ校舎で学んでいます。多様な生徒が集う環境がもたらす協働の経験や学びの視点は、他の高校では決して得られないものであり、皆さんの将来の財産となるでしょう。

皆さんが所属するクラスには、高志中学校を卒業して内部進学した生徒と、その他の中学校から高校入試を経て入学した生徒が在籍します。一部の教科・科目では学習進度別の講座で授業を受けますが、学校生活の多くの時間を共に過ごす仲間同士として、お互いの個性や長所を認め合うとともに自分の持ち味を発揮しながら、切磋琢磨してもらいたいと願っています。

本校の校訓は、「克己・創造・敬愛」です。「克己」とは自分に打ち克ち人生を切り拓いていくこと、「創造」とは新しいものを創ったり問題を解決したりすること、「敬愛」とは他者を理解し多様性を尊重しようとする事を指します。

この校訓のもと本校で学んだ卒業生は、すでに3万人を超え、県内はもとより国内外の様々な分野で活躍しています。皆さんも、将来、自分に与えられた場所や自分が選んだ分野で、自分の力を発揮することができるよう、本校での学びに力を注いでください。

ここでいう「学び」とは、教科の学習だけを意味するものではありません。単なる知識の暗記や、決まった答えを導き出すための作業等に限ったものでもありません。多くの方が答えを見つけられずにいる問題に対して、周囲の人と協力しながら現時点での最適な解にたどり着くプロセスを経験することが、これからの時代を生きる皆さんにとって必要な「学び」であることを心に留めておいてください。

今年1月1日に発生した能登半島地震では、多くの人たちが甚大な被害を受け、今も生活再建に奮闘している方がたくさんおられます。世界で起こっている紛争や環境問題等によって、私たちの生活にも大きな影響がもたらされています。未来を予測したり、様々な問題に対して明確な答えを見つけたりするのが、ますます難しい時代になっています。

このような状況にある皆さんにとって大切なのは、「自分は将来何をしたいのか」を自分が知っておくということです。「自分はどのようなことに価値を感じるのか」「自分はどうなりたいのか」を常に問い続けてください。「やりたいこと・なりたい自分を実現するためにはどうするとよいのか」という問いに対する答えを自分で見つけ出し、具体的な行動を起こすようにしてください。そして、目標に向かって試行錯誤を重ねる中で、自分自身の変化や成長を楽しんでください。

本校の名前の通り「高い志」を掲げ、学習や部活動をはじめとした諸活動に意欲と情熱を燃やすことで充実した高校生活を送り、一日一日確実に歩みを進めてください。3年後、皆さんがこの高志高校から次のステージに進む時、どれだけ大きく成長した姿を見せてくれるのか、楽しみにしています。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。新入生の皆さんと、この高志高校で出会い、学校生活を共に過ごすことができることを、大変うれしく思っております。本校の全教職員が、心を一つにして、お子様の教育にあたる決意でございます。保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動をご理解くださるとともに、今後のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、新入生の皆さんが、明日からの高校生活で、自己の改善と向上に力を注ぎ、高志高校をより一層素晴らしい学校にしてくれることを期待して、式辞とします。

令和6年4月8日

福井県立高志高等学校長
山内 悟